

# 平成27年度交流学習事業

## 実績報告

# 目次

1	交流学習事業について・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	平成27年度交流学習の実施内容一覧・・・・・・・・	2
3	実施報告書	
	○ 作並小学校・大倉小学校・上愛子小学校・・・・・・・・	4
	○ 根白石小学校・福岡小学校・実沢小学校・野村小学校・・	6
	○ 秋保小学校・馬場小学校・湯元小学校・・・・・・・・	8
	○ 根白石中学校・住吉台中学校・・・・・・・・・・・・	10
	○ 秋保中学校・南光台中学校・・・・・・・・・・・・	12
	○ 広陵中学校・折立中学校・・・・・・・・・・・・	14
	○ 生出中学校・中山中学校・・・・・・・・・・・・	16
4	平成27年度交流学習事業担当者会の概要・・・・・・・・	18
5	平成27年度交流学習事業の成果と課題および今後の取組み・	19
	○ 「27年度の交流の様子」・・・・・・・・・・・・	20
6	平成28年度交流学習事業の実施予定内容一覧・・・・・・・・	22
7	平成28年度交流学習事業スケジュール・・・・・・・・	24

# 交流学习事業について

仙台市教育委員会では、平成20年8月に策定した「仙台市立小・中学校の一定規模確保に向けた実施方針」において、一定規模の基準（小学校：12学級以上，中学校：9学級以上）を満たしていないものの、通学距離の基準（小学校：概ね4km以内，中学校：概ね6km以内）を超える地域があるため隣接校との統合が難しいことから、統合以外の「新たな方策」を検討する必要があると位置づけた小学校16校，中学校4校並びに、小規模化の著しい学校を対象に、小規模校における教育環境の向上を図るため、学校間で合同授業等を行う交流学习事業を実施しています。

## 【目的】

小規模校の児童や生徒が、授業や学校行事などを合同で行い、新しい出会いの中から、より多くの仲間とのかかわり合いを持ち、学び合う楽しさや意義を体験するとともに、思考力やコミュニケーション力、あるいは多様な人間関係の中での協調性等をより一層身に付けていくことができるような教育環境の向上を目的としています。

## 【概要】

交流学习事業は平成21年度から平成23年度までモデル事業として実施し、事業の効果や課題を検証してきました。平成21・22年度の2年間のモデル事業として小学校8校（4事業）、平成22・23年度の2年間のモデル事業として3小学校（1事業）、2中学校（1事業）において実施しました。

モデル事業を実施した結果、授業時数の確保などの課題はあるものの、コミュニケーション力の向上や中一ギャップの解消などにつながる有意義な事業であることが確認できたため、平成24年度からすべての事業で本格実施をしています。

年度ごとに実施校による報告書を作成し、課題などに関して検討を加えながら、よりよい形での展開を図っていくために実践を積み重ねています。

## 平成21年度からの交流学习実施校

※ 〰〰〰 の年度はモデル事業として実施。

学校名	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	備考
荒浜小・東六郷小		〰〰〰						津波被災により実施困難と判断し、H23より中止。
生出小・坪沼小		〰〰〰	〰〰〰	〰〰〰	〰〰〰			H26はH27年4月の両校の統合に向けて、事前の児童間交流を実施。H27年4月生出小と坪沼小が統合。
作並小・大倉小・上愛子小		〰〰〰	〰〰〰	〰〰〰	〰〰〰			上愛子小はH25より実施。
根白石小・福岡小・実沢小・野村小		〰〰〰	〰〰〰	〰〰〰	〰〰〰			実沢小はH23から実施。 野村小はH26から実施。
秋保小・馬場小・湯元小		〰〰〰	〰〰〰	〰〰〰	〰〰〰			
根白石中・住吉台中		〰〰〰	〰〰〰	〰〰〰	〰〰〰			
秋保中・南光台中		〰〰〰	〰〰〰	〰〰〰	〰〰〰			住吉台中，南光台中，折立中，中山中は一定規模の基準を満たしているが、交流相手校として実施。
広陵中・折立中		〰〰〰	〰〰〰	〰〰〰	〰〰〰			
生出中・中山中		〰〰〰	〰〰〰	〰〰〰	〰〰〰			

平成 27 年度交流学習事業の実施内容一覧

実施校	日時	学年	会場	教科・領域	内容
① 作並小 大倉小 上愛子小	6/16(火)	作・大・上 4年	宮城県警 宮城消防署	社会	・合同での社会科見学 ・バス車中での交流
	7/3(金)	作・大・上 5・6年	作並小	算数	・出会いの会(めあての発表) ・各教科での合同授業
	9/9(水)	作・大 5・6年	大倉小	体育 学級活動	・陸上記録会に向けた合同練習 ・合同給食
	11/26(木)	作・大・上 5年	東北放送 河北新報	社会	・合同での社会科見学 ・バス車中での交流
	12/15(火)	作・大・上 6年	広陵中 (小中連携)	外国語活動 学級活動	・3校6年生の顔合わせ ・中学生活のオリエンテーション ・英語の授業参観
	1/15(金)	作・大・上 5・6年	上愛子小	総合的な 学習の時間	・「総合的な学習の時間」の学習 成果を発表
② 根白石小 福岡小 実沢小 野村小	6/19(金)	根・福・実 6年	実沢小	総合的な 学習の時間	・修学旅行結団式(めあて確認、グ ループごと自主研修計画作成) ・学校紹介、旅行の抱負発表 ※合同修学旅行(6/25・26、会津、 移動費は各校で負担)
	7/2(木)	根・福・実・野 4年	松森工場 宮城県警	社会	・バスの中で交流(学校紹介等) ・2校混合のグループに分かれて 施設見学、課題解決学習
	9/9(水)	根・福・実・野 5・6年	東北学院大 泉キャンパス	体育	・雨天のため中止
	9/30(水)	根・福 5年	トヨタ自動車 河北新報	社会 体育	・バスの中で交流(学校紹介等) ・施設見学、質疑応答、感想発表
	11/6(金)	根・福・実・野 6年	天文台 東北大学工学部	理科	・バスの中で交流 ・4校混合のグループに分かれて、 施設見学、質疑応答、感想発表
	11/17(火)	根・福 5年	NHK 宮城県庁	社会	・バスの中で交流 ・2校混合のグループに分かれて、 施設見学、質疑応答、感想発表
③ 秋保小 馬場小 湯元小	5/28(木)	秋・馬・湯 6年	秋保小	総合的な 学習の時間	・修学旅行事前交流会(自己紹介や ゲームを通して交流) ・会津での交流会について話し合い ※合同修学旅行(6/3・4、会津、 移動費は各校負担)
	6/18(木)	秋・馬・湯 4・5年	馬場小	社会	・校外学習の事前学習会
	9/10(木)	秋・馬・湯 5・6年	湯元小	体育	・陸上記録会に向けての合同練習
	10/1(木)	秋・馬・湯 4年	葛岡リサイ クルプラザ 茂庭浄水場	社会	・バスの中で交流 ・合同での社会科見学
	11/24(火)	秋・馬・湯 5年	トヨタ自動車 河北新報	社会	・バスの中で交流 ・合同での社会科見学
	1/14(木)	秋・馬・湯 6年	秋保中 (小中連携)	学級活動	・秋保中ガイダンス(授業参加、部 活動見学、生徒会活動の紹介)

## 平成 27 年度交流学習事業の実施内容一覧

実施校		日時	学年	会場	教科・領域	内容
④	根白石中 住吉台中	6/1(月)	根・住 1・2・3年	住吉台中	部活動 生徒会活動	・野球部、ソフトテニス部、吹奏楽部、生徒会執行部ごとに合同で活動
		6/3(水)	根・住 1年	住吉台中	体育	・「よっちょれ」の基本を理解
		6/5(金)	根・住 1年	住吉台中	体育	・「よっちょれ」の創作パートを作り上げる
		6/8(月)	根・住 3年	住吉台中	社会 英語 理科	・根中3年が3グループに分かれ、それぞれ住中1～3組と合同授業
		6/29(月)	根・住 1・2・3年	住吉台中	音楽	・住中外部講師の指導を受け、合唱コンクールに向けた練習
⑤	秋保中 南光台中	7/7(火)	秋・南 1・2・3年	南光台中	音楽	・合唱合同練習会 ・交流授業(1年)
		7/15(水)	秋・南 1・2・3年	川内 萩ホール	音楽	・合唱コンクール
		8/6(木)	秋・南 生徒会	秋保中	生徒会活動	・生徒会役員同士で学校紹介、情報交換 ・そば打ち体験学習
		9/5(土)	秋・南 3年	南光台中	学校行事	・南光台中文化祭参加(ステージ鑑賞、秋保かるた大会実施)
		12/11(金)	秋・南 1・2年	南光台中	総合的な 学習の時間	・職場体験発表会(視聴、発表)
⑥	広陵中 折立中	5/25(月)	広・折 1・2・3年	折立中	特別活動 体育	・学年別にエンカウンターの実施 ・学年別に体育の授業
		6/30(火)	広・折 1年	折立中	音楽	・折立中の縦割り合唱練習に広陵中1年生が参加
		7/10(金)	広・折 1・2・3年	広瀬文化 センター	学校行事	・合唱コンクール
		8/28(金)	広・折 1・2・3年	折立中	特別活動	・合同でソーラン発表の練習
		10/20(火)	広・折 1年	広陵中	特別活動	・小グループでテーマを設定し話し合い活動を行い発表
⑦	生出中 中山中	5/29(金)	生・中 1・2・3年	中山中	生徒会活動	・生徒会役員同士で学校紹介、生徒会活動の情報交換
		6/19(金)	生・中 1・2・3年	中山中	音楽	・合唱練習の見学と合同練習
		7/10(金)	生・中 1・2・3年	仙台市民 会館	学校行事	・合唱コンクール
		12/10(木)	生・中 1・2年	中山中	総合的な 学習の時間	・職場体験発表会(視聴、発表)

# 平成 27 年度交流学習事業 実施報告書

## 1 実施学年

学 校 名	第 4 学年	第 5 学年	第 6 学年
作並小学校	1 人 (1 学級)	2 人 (1 学級)	6 人 (1 学級)
大倉小学校	4 人 (1 学級)	3 人 (1 学級)	4 人 (1 学級)
上愛子小学校	13 人 (1 学級)	22 人 (1 学級)	17 人 (1 学級)

※「児童生徒数」及び「学級数」については、平成 27 年 5 月 1 日時点の数値

## 2 実施目標

目標 (テーマ)	交流学習という新しい出会いを通して、より多くの人々と関わりをもち、学び合う楽しさや意義を体感するとともに、進んで自分の考えや思いを表現するなど、児童一人一人のコミュニケーション能力を高める。
背景・理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の学校生活の中で関わるができる児童に限られ、多角的なものの見方や発想に触れたり、相互に切磋琢磨したりできる環境にない。</li> <li>・長期間限られた人間関係の中で過ごしているため、児童相互の意思疎通が容易である反面、コミュニケーション能力が育ちにくい。</li> <li>・中 1 ギャップの解消とよりよい適応を視野に、早期からの交流が必要である。</li> </ul>

## 3 実施結果

回	実施日	実施学年	会場	実施教科・領域	移動手段
第 1 回	6 月 16 日 (火)	4 年	宮城県警察 宮城消防署	社会	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 2 回	7 月 3 日 (金)	5, 6 年	作並小学校	算数	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 3 回	9 月 9 日 (水)	大倉小 作並小 5, 6 年	大倉小学校	体育 学級活動	<input type="checkbox"/> 貸切バス <input checked="" type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 4 回	11 月 26 日 (木)	5 年	東北放送 河北新報印刷センター	社会	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 5 回	12 月 15 日 (火)	6 年	広陵中学校	外国語活動 学級活動	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input checked="" type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 6 回	1 月 15 日 (金)	5, 6 年	上愛子小学校	総合的な学習の時間	<input type="checkbox"/> 貸切バス <input checked="" type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )

## 4 実施内容

回	授業のねらい	授業の展開
第1回	4年生の社会科見学を合同で行うことで、多様な気付きや考えを共有し、関わり合う中で互いに学び合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮城県警察の見学</li> <li>・宮城消防署の見学</li> <li>・バスの中での交流（めあて、自己紹介）</li> </ul>
第2回	3校の5, 6年生がそれぞれ算数科における合同授業を行うことにより、多様な考えに触れ、学び合いの充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出会いの会（めあての発表）</li> <li>・算数の合同授業（5, 6年各教室）</li> </ul>
第3回	陸上記録会に向けての練習や給食を合同で行う。陸上記録会での応援方法の話合いや合同応援練習を通して交流を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種目毎の陸上練習</li> <li>・合同応援練習</li> <li>・合同給食</li> </ul>
第4回	5年生の社会科見学を通して、多様な気付きや考えを共有し、コミュニケーションを図りながら、互いに学び合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北放送の見学</li> <li>・河北印刷センターの見学</li> <li>・バスの中での交流（めあて、自己紹介）</li> </ul>
第5回	広陵中学校を会場に、3校の6年生と中学生が交流を図る。中学校の英語と学校紹介の授業に参加し、中学校への適応を図る一助とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3校6年生の顔合せ</li> <li>・中学校生活のオリエンテーション</li> <li>・英語の授業参加</li> </ul>
第6回	3校の5, 6年生がそれぞれに「総合的な学習の時間」の1年間の学びの成果について発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年別に3校の「総合的な学習の時間」で学んだことを発表し合い、相互の取組を理解しながら交流した。</li> </ul>

## 5 評価（成果と課題）

児童生徒の変容	<b>（交流活動時の様子）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出会いの当初、他校の児童との間で互いに遠慮する姿が見られたが、自己紹介や活動中の交流を通して、次第に心を開き、他校の児童と楽しく関わろうとする姿が見られた。</li> </ul>
	<b>（交流学习を通して表れてきた変化）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科の合同授業で、進んで自分の考えや思いを表現しようとする他校の児童の姿に刺激を受け、発表しようとする姿が見られた。</li> <li>・交流の期間が空くと、出会いの当初に戻ったように緊張感が感じられ、交流の輪の広がりには欠ける様子が見られた。</li> </ul>
授業内容の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一つの教室で3校の児童が算数の学習を進める機会を持った。進度の調整が容易になるよう単元の最初の時間を指導するようにした。また児童から多様な考え方が引き出せるよう課題を設定したり教具を工夫したりした。</li> </ul>
計画・運営面での工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流に関わる事務的な業務を幹事校の教頭が行い、市教委や各校と調整することで円滑な運営をすることができた。</li> <li>・合同授業の際は、児童用の机椅子が不足したため、事前に学習内容について指導者と調整を図り、内容に応じて長机等を利用して対応した。</li> </ul>
今年度の総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模校の児童が、同じ教室で机を並べて教科学習に取り組んだことは、課題を解決するための多様な考えを知るとともに、児童自身が考えを深めたり広げたりする機会となった。</li> <li>・校外学習として交流学习の機会を利用することで、小規模校にとって体験的な学習を充実させる上で有意義であった。</li> </ul>
次年度へ向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合同授業の機会を増やしていく。教科学習の中で多様な考え方に触れる機会を多くし、児童の視野を広げていきたい。</li> <li>・社会科等の校外学習を交流学习として実施し、充実を図りたい。</li> </ul>

## 6 広報の方法

- （ ○ ） 学校のホームページを使い、ブログ、交流学习アイコン等を作成し、随時知らせた。
- （ ○ ） 学校だよりなど学校からの広報紙に記事を書き、随時知らせた。
- （ ○ ） その他（懇談会などの機会に交流学习の意義や様子などを知らせた。 ）

## 平成27年度交流学習事業 実施報告書

### 1 実施学年

学校名	第4学年	第5学年	第6学年
福岡小学校	10人(1学級)	8人(1学級)	10人(1学級)
根白石小学校	14人(1学級)	12人(1学級)	10人(1学級)
実沢小学校	7人(1学級)		5人(1学級)
野村小学校	11人(1学級)	6人(1学級)	10人(1学級)

※「児童生徒数」及び「学級数」については、平成27年5月1日時点の数値

### 2 実施目標

目標(テーマ)	他校の児童との新しい出会いを通して多様な関わりをもち、学び合う楽しさや意義を体験するとともに、思考力やコミュニケーション力、多様な人間関係の中での協調性等を身に付けていくことができるようにする。
背景・理由	小規模校で単学級の編制であるため、学校生活の中で関わることのできる同学年児童に限られている。そのため、互いの長所短所や特徴を深く分かり合える反面、他者とのコミュニケーションに対して消極的であったり新しいことに積極的に挑戦しようとする意欲が乏しかったりするところも見られる。

### 3 実施計画

回	実施日	実施学年	会場	実施教科・領域	移動手段
第1回	6月19日(金)	6年 実沢小 福岡小 根白石小	実沢小学校	総合的な学習の時間	■タクシー
	6月25日(木)・ ~26日(金)		会津若松方面	合同修学旅行 (学校行事)	■その他(バス) (学校で手配)
第2回	7月2日(木)	4年	松森清掃工場, 宮城県警察	社会	■貸切バス □タクシー □その他
第3回	9月9日(水) *雨天のため中止	5年 6年	東北学院大学 泉キャンパス	体育	■貸切バス □タクシー □その他
第4回	9月30日(水)	5年 福岡小 根白石小	トヨタ自動車東日本工場 万葉クリエイティブパーク 河北新報印刷センター	社会・体育	■貸切バス □タクシー □その他
第5回	11月6日(金)	6年	仙台市天文台 東北大学工学部	理科	■貸切バス □タクシー □その他
第6回	11月17日(火)	5年 福岡小 根白石小	NHK仙台放送局 県庁危機対策課	社会	■貸切バス □タクシー □その他



#### 4 実施内容

回	授業のねらい	授業の展開
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行のめあてや活動内容をしっかりと理解する。</li> <li>・学校紹介や体育の授業を通してコミュニケーションを図り、親睦を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行の結団式（めあての確認，グループごとの自主研修計画の作成）</li> <li>・自校の紹介や修学旅行の抱負の発表</li> <li>・協力を必要とするゲームとドッジボール</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3校による修学旅行で様々な交流活動を行い，コミュニケーション能力向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3校混合のグループに分かれての見学及び研修活動</li> </ul>
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての交流学习として清掃工場，宮城県警察の見学を行い，多様な考え方に触れながらコミュニケーションを深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの中での交流（学校及び自己紹介等）</li> <li>・4校混合のグループに分かれての施設見学及び課題解決学習</li> </ul>
第3回	雨天のため中止	
第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トヨタ自動車東日本の見学や車中での交流を通し，多様な考え方に触れ，コミュニケーションを深める。また，万葉クリエートパークでのアスレチックコース体験を通して，コミュニケーションを深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの中での交流（学校及び自己紹介等）</li> <li>・トヨタ自動車東日本の施設見学と質疑応答，感想発表</li> <li>・2校混合グループによるアスレチックコース体験及び昼食交流</li> </ul>
第5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの交流の経験を生かしてグループ活動に積極的に取り組みませ，学習内容を深く理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの中での交流（めあての発表など）</li> <li>・4校混合グループによる学習・実験</li> <li>・見学での疑問や発見，感想などの発表</li> </ul>
第6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの交流の経験を生かしてグループ学習に積極的に取り組みませ，学習内容を深く理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの中での交流（めあての発表など）</li> <li>・混合のグループによる放送局の見学</li> <li>・質疑応答及び感想発表</li> </ul>

#### 5 評価（成果と課題）

児童生徒の変容	（交流活動時の様子） <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初は戸惑っていたが，活動を通して慣れてくるに従って，休憩時にも積極的に他校の児童と関わっていた。</li> </ul>
	（交流学习を通して表れてきた変化） <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつもと違う同学年の児童と一緒に活動することで，自分の意見を積極的に発表する力，他の意見を認める力が育ってきている。</li> </ul>
授業内容の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な範囲で参加校で混合グループを編成し，コミュニケーションを取りながら活動する場を設定したことが効果的だった。</li> </ul>
計画・運営面での工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月と12月に関係校の職員が一堂に会し，年間の活動計画についての確認や成果と課題について話し合った。教員間の情報交換の場となり，各学年の教員の自主的な取組につながった。</li> <li>・12月の会では，来年度の実施希望内容も話し合った。その後，各校の教務主任が打合せし，具体的な計画を立てた。</li> </ul>
今年度の総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての交流学习において，交流の場の設定が工夫されていた。交流することで，学習活動そのものにも効果をあげていた。</li> </ul>
次年度へ向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に見学することだけで交流学习を終わらせるのではなく，スカイプ等を利用して，事前・事後の意見交換や発表会を行いたい。</li> </ul>

#### 6 広報の方法

- 学校のホームページを使い、ブログ、交流学习アイコン等を作成し、随時知らせる。  
 学校だよりなど学校からの広報紙に記事を書き、随時知らせる。  
 その他（ ）

# 平成 27 年度交流学習事業 実施報告書

## 1 実施学年

学 校 名	第 4 学年	第 5 学年	第 6 学年
秋保小学校	8 人 (1 学級)	11 人 (1 学級)	5 人 (1 学級)
馬場小学校	12 人 (1 学級)	7 人 (1 学級)	13 人 (1 学級)
湯元小学校	11 人 (1 学級)	13 人 (1 学級)	19 人 (1 学級)

※「児童生徒数」及び「学級数」については、平成 27 年 5 月 1 日時点の数値

## 2 実施目標

目標 (テーマ)	・学校間交流を通して、多様な人間関係の中で適切に自己を表現する力と他者を理解しようとする人間性を育む。
背景・理由	・日常の学校生活の中で関わることのできる同学年の児童に限られており、児童相互の意思疎通が円滑な半面、多様な人間との触れ合いやコミュニケーション能力を育む機会が乏しい。

## 3 実施結果

回	実施日	実施学年	会場	実施教科・領域	移動手段
第 1 回	5 月 28 日 (木)	6 年	秋保小学校	総合的な学習 (修学旅行事前学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 2 回	6 月 18 日 (木)	4・5 年	馬場小学校	社会 (工場見学事前学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 3 回	9 月 10 日 (木)	5・6 年	湯元小学校	体育 (陸上記録会合同練習)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 4 回	10 月 1 日 (木)	4 年	茂庭浄水場 葛岡リサイクルプラザ	社会	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 5 回	11 月 24 日 (火)	5 年	トヨタ自動車東日本工場 河北新報印刷センター	社会	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 6 回	1 月 14 日 (木)	6 年	秋保中学校	学級活動 (秋保中ガイダンス)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input checked="" type="checkbox"/> その他 (徒歩)



## 平成 27 年度交流学習事業 実施報告書

### 1 実施学年

学 校 名	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
根白石中学校	23 人 (1 学級)	34 人 (1 学級)	28 人 (1 学級)
住吉台中学校	77 人 (3 学級)	83 人 (3 学級)	82 人 (3 学級)

※「児童生徒数」及び「学級数」については、平成 27 年 5 月 1 日時点の数値

### 2 実施目標

目標 (テーマ)	多様な考えに触れる機会を確保するための工夫 ー学校間ネットワークの構築を目指してー
背景・理由	「仙台市立小・中学校の一定規模確保に向けた基本方針」に基づき、小規模校のデメリットの一つである、多様な考えに触れる機会の減少を緩和したい。住吉台中学校との学校間ネットワークの構築を目指し、今後同様の課題に直面するかもしれない学校のモデルとなるよう、取り組みたい。

### 3 実施結果

回	実施日	実施学年	会場	実施教科・領域	移動手段
第 1 回	6 月 1 日 (月)	全学年	住吉台中学校	部活動 生徒会活動	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 2 回	6 月 3 日 (水)	1 年	住吉台中学校	体 育	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 3 回	6 月 5 日 (金)	1 年	住吉台中学校	体 育	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 4 回	6 月 8 日 (月)	3 年	住吉台中学校	社 会 理 科 英 語	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 5 回	6 月 29 日 (月)	全学年	住吉台中学校	音 楽	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )

## 4 実施内容

回	授業のねらい	授業の展開
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>合同で部活動を行うことにより、多人数での活動を体験させる。</li> <li>生徒会執行部の意見交換により、生徒が主体的に活動するための考えを持たせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野球部、ソフトテニス部、吹奏楽部が、合同で部活動を行った。</li> <li>両校の生徒会執行部で意見交換会を実施した。</li> <li>次回以降の授業の打合せを行った。</li> </ul>
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>大人数での身体を使った表現活動を体感させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「よっちょれ」の基本を理解し、たくさん的人数の中で活動した。</li> </ul>
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>学び合いにより、多様な表現方法に気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「よっちょれ」の創作パートを学び合いにより作り上げ演技した。</li> </ul>
第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>住吉台中と根白石中の教員によるT Tの授業を体験することにより、異なる集団の中でも、自分の考えを表現できるようにする。</li> <li>多様な考えに触れさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>根白石中の第3学年27名が三つのグループに分かれ、住吉台中1組～3組と合同に授業を受けた。</li> <li>社会、英語、理科の3コマ用意し、3時間受けることにより、クラス間格差がでないようにした。</li> </ul>
第5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>住吉台中外部講師の指導をいただき、合唱コンクール本番に向けて完成度を高めさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれのクラスの表現の違い、大人数でのハーモニーを体感することができた。</li> </ul>

## 5 評価（成果と課題）

児童生徒の変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動交流では、普段できない練習試合形式で行うことができ、お互いの技術向上につながった。</li> <li>音楽（合唱）交流では、同じ学年が演奏する曲の表現方法等を知ることができ、その後の練習の意欲向上につながった。また、合唱指導専門の先生から親切・丁寧な指導をしていただき合唱全体の質が向上した。</li> </ul>
授業内容の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>両校共通する部活動が少ないため、生徒会執行部の交流を入れ、生徒が主体的に考えを持てるようにした。</li> <li>住吉台中の3学級に合わせ、根白石中27名を3グループに分け、住吉台中の3学級に入り社会・理科・英語の授業それぞれに3回ずつ合同で行った。</li> <li>音楽（合唱）では、講師の方から指導を受ける機会を設けた。</li> </ul>
計画・運営面での工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>小規模校であるために絶対教員数が少なく、交流学习に行く教員と学校に残って授業を行う教員の割り振りを工夫して行った。</li> <li>全学年が交流できる計画を立て実施した。</li> <li>住吉台中の教員と事前の連絡を綿密にはできなかった。</li> </ul>
今年度の総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>住吉台中の協力のお陰で計画通り実施することができた。普段、接することのできない他の学級との交流は貴重な経験になった。</li> <li>教科の合同学習は、各学校の進度差があり、事前の打ち合わせが重要になる。</li> </ul>
次年度へ向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年単位での交流学习のため、交流担当引率者（授業者）と学校に残って授業を行う教師の配置の絶対数がたりないため、他の行事や職務研修等の日程を十分に考慮した計画を立てる必要がある。</li> <li>両校における更なる効果を上げるための工夫を考える必要がある。</li> </ul>

## 6 広報の方法

- ( ○ ) 学校のホームページを使い、ブログ、交流学习アイコン等を作成し、随時知らせた。
- ( ○ ) 学校だよりなど学校からの広報紙に記事を載せ、随時知らせた。
- ( ) その他 ( )

# 平成 27 年度交流学習事業 実施報告書

## 1 実施学年

学 校 名	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年
秋保中学校	33 人 ( 1 学級)	25 人 (1 学級)	31 人 (1 学級)
南光台中学校	102 人 ( 3 学級)	130 人 (4 学級)	114 人 (3 学級)

※「児童生徒数」及び「学級数」については、平成 27 年 5 月 1 日時点の数値

## 2 実施目標

目標 (テーマ)	<p>同学年の複数学級で競い合いながら合唱づくりに取り組ませることにより、意欲を高めさせるとともに、単学級ではできない体験を通して、歌うことの楽しさや喜びをより深く味わわせる。</p> <p>学校紹介や秋保に伝わる「秋保郷土かるた」を通して、文化祭に参加し、行事の楽しさを体験する。</p> <p>生徒会役員が各学校の取組等を情報交換し、お互いの生徒会活動に生かしていく。</p> <p>職場体験活動の発表をしたり聞いたりすることを通して、お互いの学びを深める。</p>
背景・理由	<p>秋保中は、全学年が単学級となるため、合唱コンクールを実施することが難しい状況である。中規模校と合同で合唱コンクールを実施することを通して合唱づくりへの意欲を高め、他校の刺激を受けながらハーモニーが豊かに響き合う合唱を目指したい。</p> <p>また、文化祭は、小規模校では実現できない行事であり、参加することを通して、見聞を広げさせることを目指したい。</p> <p>そして、生徒会役員会や職場体験発表活動を通して、プレゼンの方法や地域について学び合い、成長の一助としたい。</p>

## 3 実施結果

回	実施日	実施学年	会場	実施教科・領域	移動手段
第 1 回	7 月 7 日 (火)	全学年	南光台中学校	音楽 (中間発表会)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 2 回	7 月 15 日 (水)	全学年	川内萩ホール	音楽 (合唱コンクール)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 3 回	8 月 6 日 (木)	生徒会	秋保中学校	生徒会活動 (生徒会役員交流)	<input type="checkbox"/> 貸切バス <input checked="" type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 4 回	9 月 5 日 (土)	3 年	南光台中学校	学校行事 (文化祭参加)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 5 回	12 月 11 日 (金)	1・2 年	南光台中学校	総合的な学習の時間 (職場体験発表会)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )

## 4 実施内容

回	授業のねらい	授業の展開
第1回	合唱中間発表会（学年ごと）7/7 ・共通の課題曲や学級ごとの自由曲を披露し合う中で、今後練習すべき課題を捉えさせることをねらいとする。 交流授業（1年生） ・各校の校長先生が相手校の1年生に授業を行い、交流学習の学びの意義を伝えながら、仲間意識を育むことをねらいとする。	1 合同練習会 ①全体合唱 ②合唱披露 ③講評 2 交流授業 ①交流学习の意義伝達 ②教科学習（理科・特別活動）
第2回	合唱コンクール7/15 ・練習成果を十分に発揮させることにより充実感や達成感を味わわせる。 ・他の学級や学年の発表を鑑賞し、より深い表現や技能を学ぶことをねらいとする。	1 開会行事 2 合唱披露 ＜他学級・学年合唱の鑑賞＞ 3 閉会行事（指導講評）
第3回	生徒会役員交流8/6 ・生徒会役員の交流を通して、2校間の相互理解を深める機会とする。	1 両校役員紹介 2 両校活動紹介（プレゼン）・情報交換 3 そば打ち体験学習
第4回	文化祭9/5 ・ステージ披露での鑑賞及び展示での秋保郷土かるた大会の実施により、お互いの学校や地域の文化を知る機会とする。	1 会場設営 2 ステージ・展示発表 ①ステージ発表鑑賞 ②秋保郷土かるた大会準備・実施 3 会場片付け
第5回	職場体験発表会12/11 ・職場体験で得た経験を、互いに発表し合い、視野を広げたり、プレゼンの方法を学んだりする機会とする。	1 会場設営 2 発表・視聴 3 会場片付け

## 5 評価（成果と課題）

児童生徒の変容	（交流活動時の様子） ・合唱中間発表会、コンクールでは、両校共に精一杯歌い上げる姿が見られた。生徒会役員会や文化祭、職場体験発表会では、秋保ならではの取組に南光台中学生が興味を持って話に聞き入ったり、活動したりする姿が見られた。
	（交流学习を通して表れてきた変化） ・お互いの学級・学校の良さを感じ取り、より良い合唱への技術の向上が見られた。また、プレゼン等の発表の仕方においても両校の良さを感じ取り、今後の自分たちの活動に生かしていきたいという意欲ある発言が見られた。
授業内容の工夫	・地域を知る活動にもつながるように、生徒会役員交流での「そば打ち体験」や文化祭での「秋保郷土かるた」競技ブースを設けたりする企画を立て、楽しく交流活動が行える雰囲気づくりに努めた。
計画・運営面での工夫	・教頭、教務主任、学年主任、音楽科主任同士が電話、メール等を活用し、運営できるように連絡を常に取り合い計画・運営に当たった。
今年度の総括	・全ての活動において、お互いの発表の仕方や地域を知る機会となった。合唱の技能やプレゼン方法の向上につながり教育効果を上げることができた。
次年度へ向けて	・各活動の主担当が、交流会の持ち方や時間設定などの計画・運営面の検討を意見を交わしながら行えるよう設定していく必要がある。

## 6 広報の方法

- （ ○ ） 学校のホームページを使い、ブログ、交流学习アイコン等を作成し、随時知らせた。
- （ ○ ） 学校だよりなど学校からの広報紙に記事を載せ、随時知らせた。
- （ ○ ） その他（保護者へのお便りで知らせた。）

## 平成 27 年度交流学習事業 実施報告書

### 1 実施学年

学 校 名	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年
折立中学校	105人 (3 学級)	110人 (3 学級) ※特別支援学級 3 名含む	100人 (3 学級) ※特別支援学級 1 名含む
広陵中学校	17人 (1 学級)	22人 (1 学級)	26人 (1 学級) ※特別支援学級 3 名含む

※「児童生徒数」及び「学級数」については、平成 27 年 5 月 1 日時点の数値

### 2 実施目標

目標 (テーマ)	より多くの生徒と関わるために、大規模校との交流における多様な活動体験を通して、社会性やコミュニケーション能力を身につけさせる。
背景・理由	本校生徒は、これまで同学年の大きな集団の中で活動する経験が少ない。また、小学校から限られた交友関係で、人間関係も固定され、コミュニケーションの力が不足している。このような理由から交流学習を行う必要があると判断した。

### 3 実施結果

回	実施日	実施学年	会場	実施教科・領域	移動手段
第1回	5月25日(月)	全学年	折立中学校	特別活動 (エンカウンター) 体育(実技)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第2回	6月30日(火)	1年	折立中学校	音楽(合唱)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第3回	7月10日(金)	全学年	広瀬文化センター	学校行事 (合唱コンクール)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第4回	8月28日(金)	全学年	折立中学校	特別活動 (ソラン発表の練習)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第5回	10月20日(火)	1年	広陵中学校	特別活動 (話し合い活動)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )



#### 4 実施内容

回	授業のねらい	授業の展開
第1回	エンカウンターや体育の授業を通して楽しい時間を共有することで、生徒同士の心的な交流を目指す。	各学年全員同士でエンカウンターと体育の授業を行う。体育では長縄跳びやフリースロー大会など楽しめる種目を行う。
第2回	大規模校の生徒主導による行事に参加することで、大集団での指示の出し方や指導方法を学ぶ。	合唱の縦割り練習活動に広陵中1年生が参加し、歌唱の指導を受ける。
第3回	折立中学校の合唱コンクールに参加し、コンクールの鑑賞を行うことで競い合うことや合唱を追求することの大切さを学ぶ。	折立中学校の合唱コンクールにおいて広陵中全校生徒による合唱を発表するとともに、3年生の部を鑑賞する。
第4回	両校が文化祭に向けて行っているソーランを互いに発表し合うことで、刺激を受け、それを文化祭本番の発表に生かす。	合同でソーランを発表し合い、感想を述べ合ったりアドバイスし合ったりする。
第5回	話し合い活動を通して多くの人の考えにふれ、自分の考えをより深めて表現することができるようにする。	小グループでテーマを決めて話し合い活動を行い、発表する。

#### 5 評価（成果と課題）

児童生徒の変容	(交流活動時の様子) ・学年が進むほど互いの再会を喜び合い、生徒同士のふれあいを深めながら、互いの発表の良さや人間性を認め合うことができていた。
	(交流学习を通して表れてきた変化) ・より良いもの創り出そうと積極的に活動し、意欲を持って共に学び、高め合う生徒になってきている。合唱での講評は大きな自信となった。 ・自校への愛校心や伝統の大切さを意識するようになってきている。
授業内容の工夫	・互いの良さを知ることができるように、交流場面を設定する。 ・よい刺激を受けることができるよう、見学や交流をする際の着目点や留意点を指導しておく。
計画・運営面での工夫	(教員の負担、頻度・回数の適否、広報の手段等) ・多忙な中での運営であることから、担当者同士のやりとりを電子メールやFAXなどで行ってはいるが、交流の質の向上を図ろうとすればするほど事前指導や連絡調整の時間の確保が難しい。生徒・教員の負担が軽くなる回数と運営を検討中。
今年度の総括	・回を重ねる毎に生徒の人間関係も良好になり、交流学习を楽しみにしながら活動に取り組むことができたことは大きな成果である。しかしながら、活動内容に生徒の主体性や自主性などをより発揮させるためには綿密な計画と指導が必要となり、交流校の教員との指導のねらいの共有や指導時間の確保等、教員・生徒の負担が増加した。
次年度へ向けて	・現状の教育環境の中で、交流学习の意義は大きいものがある。今後、小規模校同士でのスポーツ交流や合唱コンクールなど、日頃体験できない競い合いや評価される活動も検討していきたい。

#### 6 広報の方法

- (  ) 学校のホームページを使い、ブログ、交流学习アイコン等を作成し、随時知らせた。  
 (  ) 学校だよりなど学校からの広報紙に記事を載せ、随時知らせた。  
 (  ) その他 ( )

## 平成 27 年度交流学習事業 実施報告書

### 1 実施学年

学 校 名	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
生出中学校	15 人 ( 1 学級)	12 人 ( 1 学級)	14 人 ( 1 学級)
中山中学校	133 人 ( 4 学級)	146 人 ( 4 学級)	141 人 ( 4 学級)

※「児童生徒数」及び「学級数」については、平成 27 年 5 月 1 日時点の数値

### 2 実施目標

目標 (テーマ)	他校との交流学習を通して、社会性やコミュニケーション能力を育成する。
背景・理由	小学校から限られた人間関係の中で学校生活を送っているため、新たに交友関係を築いたり、多様な考えに接したりする機会に乏しい。他校生との交流学習を通して、生徒たちの更なる成長につなげていきたい。

### 3 実施結果

回	実施日	実施学年	会場	実施教科・領域	移動手段
第 1 回	5 月 29 日 (金)	全学年	中山中学校	生徒会活動 (生徒総会)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 2 回	6 月 19 日 (金)	全学年	中山中学校	音楽 (合唱)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 3 回	7 月 10 日 (金)	全学年	仙台市民会館	学校行事 (合唱コンクール)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 4 回	12 月 10 日 (木)	1・2 年	中山中学校	総合的な学習の時間 (職場体験発表会)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )

## 4 実施内容

回	授業のねらい	授業の展開
第1回	互いの学校や生徒会活動について紹介し合い、親睦を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校及び生徒会活動の紹介を行った。</li> <li>・互いの学校の活動について質疑・応答をした。</li> </ul>
第2回	合同合唱練習を通して、合唱コンクールに向けての今後の課題を捉えさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中山中2年1組と生出中全校生徒との合同授業。音楽科教師によるTTの指導。</li> <li>・互いの合唱を披露し、本時の目標を確認し合った。</li> <li>・最後に再度合唱を披露し、感想及びこれからの練習に対するアドバイスをした。</li> </ul>
第3回	互いの学校の合唱を鑑賞することにより、合唱のすばらしさを体感する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中山中の全クラスの合唱を鑑賞した。</li> <li>・生出中の全校合唱を披露した。</li> </ul>
第4回	職場体験で得た経験を互いに発表し合い、視野を広げたり、プレゼンの方法を学んだりする機会とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中山中2学年の各発表クラスに、生出中1・2年生が分散して参加した。</li> <li>・2学年体験グループによる発表をした。</li> <li>・1年生は発表に対し質問や感想を述べた。</li> </ul>

## 5 評価（成果と課題）

児童生徒の変容	(交流活動時の様子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの学校で事前の準備・練習を重ねて臨んだため、大勢の前でも堂々と発表することができた。休憩時には自然に挨拶を交わし会話をするなど、良好な関係を築こうとする姿が見られた。</li> </ul>
	(交流学习を通して表れてきた変化)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他校のしかも大勢の前で発表できたことが自信となり、各行事における発表の場でも、対象者を意識した表現力の向上が感じられた。</li> </ul>
授業内容の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流学习1年目は互いの学校を知ることが必要と考え、生徒総会の場を設定した。</li> <li>・生徒数の多い中山中学校の行事及び授業に生出中学校が関わる形にし、無理のない設定にした。</li> <li>・互いの良さを知り、今後の活動に生かしていくことができるよう、活用するワークシートを工夫し、振り返りの場面を取り入れた。</li> </ul>	
計画・運営面での工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めに、教頭・生徒会・音楽科担当者による顔合わせをし、日程と内容の検討を行った。</li> <li>・その後、教頭を窓口としつつ、各回の担当者同士が連絡を取り合って具体案を検討したことで、本事業における特定の教師に係る負担を軽減することができた。</li> </ul>	
今年度の総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流学习を通して、互いの学校の良さや自校の課題に気付くことができ、生徒会を中心に今後の活動に生かそうとする意識を高めることができた。</li> <li>・一つの交流を終えるごとに、交流を通して得た自信と達成感が、生徒一人一人の成長につながっていると感じる。</li> </ul>	
次年度へ向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流学习の効果的な行事や場면을検討し、より高い教育効果を上げていきたい。</li> <li>・小規模校としての良さを発信していくためにも、両校を訪問し合う機会を検討していく。</li> </ul>	

## 6 広報の方法

- ( ○ ) 学校のホームページを使い、ブログ、交流学习アイコン等を作成し、随時知らせた。
- ( ○ ) 学校だよりなど学校からの広報紙に記事を載せ、随時知らせた。
- ( ○ ) その他 ( 保護者への便りを作成し各交流行事についてのねらいと内容を知らせた。 )

## 平成 27 年度交流学習事業担当者会（2/1 実施）の概要

交流学習事業実施後、担当者会を開催し、各校からの報告と教育センター指導主事による助言及び研修を行い、共有化を図っています。

### 1 今年度の実施内容について（実施校より）

#### (1) 作並小・大倉小・上愛子小（高橋教頭）

- ・算数の合同授業を実施した。児童は隣の席に座った交流先の小学校児童と自分の考えを紹介しあい、全体で発表するという内容の授業を行った。児童は多くの考えがあることに気づくことができ、成果があった。
- ・来年度は算数に加え国語や道徳を行い、さらに多様な考えに触れられるようにしたいと考えている。

#### (2) 秋保中・南光台中（森教頭）

- ・合同の合唱練習と萩ホールで合同合唱コンクールを行い、成果を上げた。
- ・夏の生徒会活動では、秋保地区のそば打ち体験の交流行い、さらに職場体験発表会や文化祭では、地域の様子や文化を発信する機会として捉え、両校で発表し、交流を深めることができた。

#### (3) 生出中・中山中（佐藤教頭）

- ・今年度から開始した交流学習は、まず両校を理解することが大切と考え、中山中の生徒総会に生出中の生徒が参加する活動を行った。互いに生徒会活動を発表し、理解を深めた。
- ・合同合唱コンクールを通して、大人数で行う学校行事の良さを経験することができた。生徒全員が多くの人たちの前で歌うことができたのはとても良かった。

### 2 交流学習を参観して（教育センター：小野寺指導主事）

#### (1) 秋保小・湯元小・馬場小（6月18日の交流学習）

- ・ゲームを取り入れて楽しむ活動を通して、触れ合いが生まれ「人とかかわる力」「協調性」が育まれた。また、名前を呼びやすいように学校ごとに色分けしたガムテープに名前を大きく書いて服に貼ったのは、良い工夫であった。5年生は児童が主体的に進行役を務め、授業を進めた。疑問点を伝え合い、自分が調べたい動機についても話し合うことができていた。教員が作成した学習カードもよく工夫されていた。
- ・授業を終えて担当の教員から「意見をまとめる方法」について質問があったので、シンキングツールを紹介した。最終的には社会見学で調べてみたいことを基にグルーピングすることが有効である。

#### (2) 広陵中・折立中（10月20日の交流学習）

- ・中学1年生の話し合い活動を充実させ、自分の考えを伝えようという内容で、とても興味深いテーマで行われた。生徒はテーマごとにグループに分かれ、積極的に話し合い活動に参加していた。特別活動のねらいをしっかりと立てて交流場面を作るという工夫があった。

#### (3) まとめ

- ・昨年度は、「交流している時間なのか」「学習している時間なのか」という線引きが難しかったが、今年度は活動のねらいを考えゲーム等を取り入れて交流をし、さらに授業のまとめではお互いの意見を発表し合い、聞き合うという交流ができていたのが非常に良かった。
- ・4つの視点についても教員が意識して授業づくりをしていた。交流学習では、いくつかの学校が集まったからこそできることがある。たくさんの意見を知るとはとてもいいことであり、それが4つの視点に結び付くと思うので、これからも続けてほしい。

### 3 研修

#### (1) 「インターネット電話の演習」

（教育センター：鵜沼指導主事、大内指導主事、高橋指導主事）

- ①Skypeとは？
- ②インターネット通信に必要なもの
- ③パソコンの設定の仕方
- ④スカイプに接続してみる
- ⑤「インターネット電話スカイプ」を演習



インターネット電話の演習

## 平成 27 年度交流学習事業の成果と課題および今後の取組み

### 1 児童生徒の変容について

#### (1) 成果

○児童生徒が集まり、大人数で活動することを通して積極的に発表する姿が見られた。また、他校の児童生徒が活動する姿を見たり、発表する内容を聞いたりすることによって今後の自分の学習活動等に生かそうとしていた。さらに交流を積み重ねたことから、友達としての良好な関係を築こうとする姿が見られた。

#### (2) 課題

○交流期間が長く空くと、出会った当初に戻ったようになり、打ち解けるまで時間がかかってしまう。

### 2 授業内容について

#### (1) 成果

○算数や理科、社会などの教科学習や校外学習に向けた事前学習を行い、児童生徒の多様な考えを引き出すことができた。

○グループ編成方法を工夫することによって、他校の児童生徒との活動がしやすくなり、積極的に関わろうとする姿が見られた。

○学習用ワークシートに活動のふり返りができるような設問を取り入れて、記入させることにより次回への意欲が出た。

#### (2) 課題

○授業をする際の目標と指導上の留意点についての共通理解が不十分である。

○児童の思いや考えをさらに引き出すための教具の工夫が必要である。

### 3 運営面での工夫について

#### (1) 成果

○事務連絡等の効率化を図るため、年 1~3 回にわたって教員が一堂に会し、学習についての打合せを行ったことが良かった。

○教頭以外に校務分掌に担当教員を決めて、他との連絡調整を効率よく行うことができた。

#### (2) 課題

○小規模校の教員が少ないことから負担が増えた。

○児童生徒が多く集まった際、教材や教具の確保、準備に時間がかかった。

### 4 今後の取組みについて

今年度の交流学習は、新たに中学校 2 校が加わり合計 18 校が参加し、のべ 36 回の交流学習が行われた。平成 27 年度交流学習実績報告書には、多くの児童生徒との学び合いにより、交友の広がりや学習意欲の向上などが報告されている。また今年度は、目標設定に 4 つの視点「人とかかわる力」「学び合う力」「協調性」「コミュニケーション力」を掲げ、授業者が意識して取り入れることでいろいろな手立てが見られるようになった。今後も引き続き 4 つの視点を取り入れた目標設定とさらに担当者会で交わされた意見や指導主事による指導助言、研修等を通して進めていきたい。そのために、次の 3 点について取組んでいく。

(1) 目標設定する際には「交流する時間」と「学習する時間」を的確に確保できるようにし、交流する意義をより高められるようにする。

(2) 教育センター指導主事による実施校授業者への助言等を積極的に行えるような機会を持てるようにする。

(3) 各校の移動時間等に関する負担を軽減し、交流学習の効率を高めるため「インターネット電話」を積極的に取り入れられるように進める。

以上 3 点について取組み、交流学習事業の充実を図れるようにしたい。





平成 28 年度交流学習事業の実施予定内容一覧

実施校	日時	学年	会場	教科・領域	内容
① 作並小 大倉小 上愛子小	6/3(金)	作・大・上 5・6年	大倉小	算数	・出会いの会(学校紹介) ・合同授業(各学年)
	6/21(火)	作・大・上 4年	宮城県警 宮城消防署	社会	・宮城県警、宮城消防署の見学 ・バスの中での交流(めあて、自己紹介)
	9/6(火)	作・大・上 5・6年	上愛子小	体育 学級活動	・陸上記録会に向けた合同練習 ・合同応援練習
	11/30(水)	作・大・上 6年	広陵中	外国語活動 学級活動	・3校6年生の顔合わせ ・中学生生活のオリエンテーション ・英語の授業参加
	12/13(火)	作・大・上 5年	NHK 仙台 河北新報印刷センター	社会	・NHK 仙台放送局、河北印刷センター見学 ・バスの中での交流(めあて、自己紹介)
	1/13(金)	作・大・上 5・6年	上愛子小	道徳	・再会の会(めあて紹介) ・合同授業(各学年)
② 根白石小 福岡小 実沢小 野村小	6/17(金)	根・福 6年	福岡小	総合的な学習の時間	・修学旅行結団式(めあて確認、グループごと自主研修計画作成) ・学校紹介、旅行の抱負発表
	6/28(火)	根・福・実・野 4年	松森清掃工場 宮城県警	社会	・バスの中で交流(学校紹介等) ・4校混合のグループに分かれて施設見学、課題解決学習
	9/7(水)	根・福・実・野 5・6年	東北学院大 泉キャンパス	体育	・バスの中で交流 ・学生の指導による陸上記録会に向けての合同練習(雨天時体育館)
	11/2(水)	根・福・野 6年	天文台 東北大工学部	理科	・バスの中で交流 ・3校混合のグループでの学習、実験、疑問、発見、感想の発表
	11/22(火)	根・実・福 5年	トヨタ自動車	社会	・バスの中で交流 ・3校混合のグループでの学習、実験、疑問、発見、感想の発表
	12/16(金)	根・福 6年	根白石中	総合的な学習の時間	・職場体験発表会(視聴)
③ 秋保小 馬場小 湯元小	6/3(金)	秋・馬・湯 6年	馬場小	総合的な学習の時間	・修学旅行事前交流会(自己紹介やゲームを通して交流) ・会津での交流会について話し合い
	9/2(金)	秋・馬・湯 4・5年	馬場小	社会	・3校で顔合わせ ・校外学習の事前学習会
	9/9(金)	秋・馬・湯 5・6年	湯元小	体育	・陸上記録会に向けた合同練習 ・合同応援練習
	9/30(金)	秋・馬・湯 4年	葛岡川カワサキ 茂庭浄水場	社会	・バスの中で交流 ・自分たちの生活との関連について見学を通して深める
	11/18(金)	秋・馬・湯 5年	トヨタ自動車 河北新報印刷センター	社会	・バスの中で交流 ・自動車ができるまでの過程を見学する
	1/12(木)	秋・馬・湯 6年	秋保中	学級活動	・秋保中ガイダンス(授業参加、部活動見学、生徒会活動の紹介)



平成 28 年度交流学習事業の実施予定内容一覧

実施校	日時	学年	会場	教科・領域	内容
④ 根白石中 住吉台中	5/18(水)	根・住 1年	根白石中	道徳	・アサーティブな自己表現を身に付ける
	8/2(火)	根・住 1.2年	住吉台中	部活動	・試合形式の練習をすることにより実践力を身に付ける
	8/3(水)	根・住 1.2年	住吉台中	生徒会活動	・各校の生徒会執行部の取組みについて意見交換をする
⑤ 秋保中 南光台中	7/7(木)	秋・南 1・2・3年	南光台中	音楽	・学年別に学級紹介、合唱コンクールに向けた合同練習 ・交流学習の意義についての授業
	7/15(金)	秋・南 1・2・3年	市民会館	音楽	・合同合唱コンクール
	8/5(金)	秋・南 生徒会	秋保中	生徒会活動	・生徒会役員同士が学校紹介、生徒会活動の情報交換を行い、相互理解を深める。
	9/3(土)	秋・南 3年	南光台中	学校行事	・南光台中文化祭参加(ステージ鑑賞、秋保かるた大会実施)
	12/12(月)	秋・南 1・2年	南光台中	総合的な学習の時間	・職場体験発表会(視聴、発表)
⑥ 広陵中 折立中	5/24(火)	広・折 1・2・3年	折立中	特別活動 体育科	・学年別にエンカウンター ・学年別に体育の授業
	7/15(金)	広・折 1・2・3年	広瀬文化センター	学校行事	・折立中合唱コンクールで広陵中全学年で合唱を発表 ・折立中の合唱を鑑賞
	8/26(金)	広・折 1・2・3年	折立中	特別活動	・合同でソーラン発表の練習
⑦ 生出中 中山中	5/31(火)	生・中 1・2・3年	中山中	生徒会活動	・生徒会役員同士が学校紹介、生徒会活動の情報交換を行い、相互理解を深める。
	7/11(月)	生・中 1・2・3年	青年文化センター	学校行事	・お互いの合唱練習を見学し、一緒に練習する
	7/調整中	生・中 1・2年	中山中	部活動	・野球、ソフトテニス、剣道、吹奏楽の合同練習
	8/調整中	生・中 1・2年	生出中	生徒会活動	・後期生徒会役員の紹介 ・生徒会活動の紹介、意見交換
	12/調整中	生・中 1・2年	中山中	総合的な学習の時間	・職場体験発表会を行いお互いの発表を聞く。

## 平成28年度交流学習事業スケジュール

※【B】は貸切バス、【T】はタクシー・ジャンボタクシー使用、【歩】は徒歩予定

	①作並小・大倉小・上愛子小	②根白石小・福岡小 実沢小・野村小	③秋保小・馬場小・湯元小	④根白石中・住吉台中	⑤秋保中・南光台中	⑥広陵中・折立中	⑦生出中・中山中
4月							
5月				18日(水)道徳 1年 根白石中【B】		24日(火)特活・体育 1・2・3年 折立中【B】	31日(火)生徒会活動 1・2・3年 中山中【B】
6月	3日(金)算数 作・大・上 5・6年 大倉小【B・T】	17日(金)総合 根・福 6年 福岡小【T】	3日(金)総合 秋・馬・湯 6年 馬場小【B】				
	21日(火)社会 作・大・上 4年 宮城県警・宮城消防署【B】	28日(火)社会 根・福・実・野 4年 松森清掃工場・宮城県警【B】					
7月					7日(木)音楽 1・2・3年 南光台中【B】	15日(金)学校行事 1・2・3年 広瀬文化センター【B】	11日(月)学校行事 1・2・3年 仙台市青年文化センター【B】
					15日(金)音楽 1・2・3年 仙台市民会館【B】		(調整中)部活動 1・2年 中山中【B】
8月				2日(火)部活動 1・2年 住吉台中【B】	5日(金)生徒会活動 生徒会 秋保中【T】	26日(金)特活 1・2・3年 折立中【B】	(調整中)生徒会活動 1・2年 中山中【B】
				3日(水)生徒会活動 1・2年 住吉台中【T】			
9月	6日(火)体育・学活 作・大・上 5・6年 上愛子小【T】	7日(水)体育 根・福・実・野 5・6年 学院大泉キャンパス【B】 ※雨天時:体育館	2日(金)社会 秋・馬・湯 4・5年 馬場小【B】		3日(土)学校行事 3年 南光台中【B】		
			9日(金)体育 秋・馬・湯 5・6年 湯元小【B】				
			30日(金)社会 秋・馬・湯 4年 葛岡リサイクルプラザ・茂庭浄水場【B】				
10月							
11月	30日(水)外国語活動・学活 作・大・上 6年 広陵中【B・T】	2日(水)理科 根・福・野 6年 天文台・東北大工学部【B】	18日(金)社会科 秋・馬・湯 5年 トヨタ自動車・河北新報社【B】				
		22日(火)社会 根・福・実 5年 トヨタ自動車【B】					
12月	13日(火)社会 作・大・上 5年 NHK仙台・河北新報社【B】	16日(金)総合 作・福 6年 根白石中【T】			12日(月)総合 1・2年 南光台中【B】		(調整中)総合 1・2年 中山中【B】
1月	13日(金)道徳 作・大・上 5・6年 上愛子小【T】		12日(木)学活 秋・馬・湯 6年 秋保中【B・歩】				
	担当者会(実施校・対象校・教育センター・学校規模適正化推進室)						
2月							
3月							

作並小(H21～) 根白石小(H21～) 秋保小(H22～) 根白石中(H22～) 秋保中(H24～) 広陵中(H24～) 生出中(H27～)  
大倉小(H21～) 福岡小(H21～) 湯元小(H22～) 住吉台中(H22～) 南光台中(H24～) 折立中(H24～) 中山中(H27～)  
上愛子小(H25～) 実沢小(H23～) 馬場小(H22～)

野村小(H26～)

仙台市教育委員会事務局 総務企画部 学校規模適正化推進室  
〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目5番12号 上杉分庁舎11階  
電話:022-214-8432 FAX:022-264-4428  
E-mail [kyo019031@city.sendai.jp](mailto:kyo019031@city.sendai.jp)